

9/30-10/6 #4 王国は、反逆を征服することであり、また主イエスの変貌(かたちが変わること)であるBird's Eye View 神の王国は反逆を征服する力です。A 宇宙には二つの大きな原則があります。それは神の権威とサタンの反逆です。神とサタンの間の唯一の争いは、権威と反逆に関してです: 使徒26:18 彼らの目を開き、彼らを暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせるのである。それは、私にある信仰によって、彼らが罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである。コロサイ1:13 御父は私たちを暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました。1 反逆は、神の権威を否定し、神の支配を拒絶することです: a サタンは本来、神によって創造された天使長でしたが、高ぶりのゆえに自分を高く上げ、神の主権に違犯し、神に反逆し、神の内敵となって、自分の王国を建て上げました。b 人は罪を犯したとき、神に反逆し、神の権威を否定し、神の支配を拒絶しました。バベルにおいて、人は集団で神に反逆し、神の権威を地から排除しました。2 サタンは神の権威に反逆し、人は神の権威に違犯して神に反逆しました。しかし、神はこの反逆を継続させません。彼はご自身の王国を地上に建て上げます。B 主イエスは来て神の王国を建て上げ、神の永遠の定められた御旨を完成します: 1 神の王国は、神が彼の権威を行使して、彼のご計画を成就することができる神聖な領域です。マタイ6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。2 主イエスは肉体と成った神として来て、神の王国を建て上げました。すなわち、ある領域を建て上げ、神がその中で彼の権威を行使することを通して、彼の定められた御旨を完成することができるようにしました: a 主イエスは神の王国を建て上げるために、勝利の人として立ち、サタンを打ち破り、すべての困難、反対、攻撃に抵抗しました。b 主イエスは王国の福音を宣べ伝えて、反逆した罪人が悔い改め、救われ、資格づけられ、装備されて、神の王国の中へと入るようにしました。c 主は、強い人であるサタンを縛り、サタンの家に入って彼の家財を略奪し、神の王国のために、再生を通して、罪人が神の家へともたらされるようにしました。マルコ3:27 だれでもまず強い人を縛り上げなければ、その強い人の家に入って、彼の家財を略奪することはできない。縛ってはじめて、彼の家を徹底的に略奪するのである。d 主は神の霊によって悪鬼どもを追い出したとき、サタンの王国を破壊して、神の王国をもたらしていました。マタイ12:28 しかし、私が神の霊によって悪鬼どもを追い出しているのであれば、神の王国はあなたがたに臨んでいるのである。C マルコ

4:35-41の記録は反逆の絵であり、また神の王国が反逆を征服する力であることの絵です: マルコ4:39 イエスは目を覚まして、風をしかりつけ、海に「黙れ! 静まれ!」と言われた。すると風はやんで、大なぎになった。1 サタンは、王国、暗やみの権威を持っており、それは神の王国に抵抗しています: a 悪鬼どもはサタンの王国に属し、彼の王国のために人々にとりつきます。b サタンは、この世と空中の権威の支配者です。彼は使いたちを持っており、その使いたちはサタンに従属する者であって、支配者たち、権威者たち、この暗やみの世の主権者たちです。エペソ6:12 というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。2 マルコ4:26-29にある神の王国に関する言葉と、5:1-20にある神の王国の実証の記録との間に、4:35-41にある嵐の海の事例があります: マルコ4:26 イエスはまた言われた、「神の王国はこのようなものである。ある人が地に種をまき、27 そして夜昼、寝起きしていると、その種は芽を出し伸びていくが、どのようにしてそうなるのか、その人は知らない。28 地は自ずから実を結ぶのであり、初めに葉、次に穂、次に穂の中に穀粒が満ちる。29 しかし実が熟すると、直ちに人はかまを入れる。刈り入れ時が来たからである」。a 空中の墮落した天使たちと水中の悪鬼どもは、主イエスが海の向こう岸に行くことを阻止するために力を合わせました。なぜなら彼らは、彼がそこで悪鬼どもを追い出そうとしていることを知っていたからです。b 主は風をしかりつけ、海に黙るように命じました。それは反逆の天使たちと悪鬼どもが、その背後にいたからです。c 主が風をしかりつけ、海に語った後、風はやみ、大なぎになりました。それは邪悪な天使たちと悪鬼どもの反逆が、王国の力によって征服されたからです。II 神の王国は主イエスの変貌(かたちが変わること)です マルコ9:1 イエスはまた彼らに言われた、「まことに、私はあなたがたに言う。ここに立っている者のうちのある人たちは、死を決して味わわないうちに、神の王国が力をもって来るのを見る」。2 それから六日の後、イエスはペテロとヤコブとヨハネとを連れて、彼らだけをひそかに高い山へ導いて行かれた。すると、彼は彼らの前でかたちが変わり。A マルコ9:1-13に記述されていることは、神の王国が力をもって来ることの絵です。この絵の中心は、栄光が現されたイエスであり、彼と共に、旧約の聖徒たちを代表するモーセとエリヤがおり、また新約の聖徒たちを代表するペテロとヤコブとヨハネがいます。B 主イエスが変貌したこと(主イエスのかたちが変わったこと)は、彼の人性が彼の神性で浸透され飽和されたことを意味しまし

た。この変貌は、彼の栄光が現されることであり、彼が王国の中で来ることと等しかったのです。**1**1節の、神の王国が力をもって来ることについての主の言葉は、山上で彼が変貌したこと(山上で彼のかたちが変わったこと)によって成就されました。**2**主イエスの変貌(かたちが変わること)、輝きは、彼が王国の中で来ることでした。彼の変貌があるところに、王国の到来があります。**3**主イエスの変貌(かたちが変わること)は、彼が何であるかの実際化でした。**4**王国は主イエスの実際の輝きです。彼の輝きの下にいることは、王国の中にいることです。**C**キリストは種として私たちの心の中へとまかれました。この種は成長し発展して、開花し栄光の中で現されるに至ります:

1マルコ9章において、マルコ4章でまかれた種としてのキリストの変貌(かたちが変わること)を見ます。**2**私たちが神の王国の種として受けた方は、私たちの中で成長して、ついには私たちの内側から開花する必要があります。この開花は、私たちの中での、実際の、経験することができる主の変貌(かたちが変わること)です。**3**キリストが私たちの内側で変貌する(かたちが変わる)とき、その変貌(かたちが変わること)は神の王国となり、私たちの生活におけるあらゆることを支配します。**4**神の王国としての召会は、天然の命の中で存在することはできず、ただ変貌(かたちが変わること)というこの領域の中でのみ存在することができます。**5**主のために進んで自分の魂の命を失うなら、私たちは召会生活の中で顕著な変貌を経験します。この変貌は、真の復興となります。マルコ8:35 なぜなら、すべて自分の魂の命を救おうとする者はそれを失い、すべて私のため、また福音のために、自分の魂の命を失う者はそれを救うからである。**36** 人が全世界を手に入れても、自分の魂の命を失ったなら、何の益があるだろうか?

III「その時、義人は彼らの父の王国で太陽のように輝く」(マタイ13:43a)**A**王国の実現の時、私たちの人性は、私たちの内側の栄光ある神性によって栄光化されます。**B**ある意味で、主は天から戻って来ますが、別の意味で、彼は私たちから出て来ます。彼が私たちからご自身を完全に生かし出すとき、それは彼の到来の時となります。**C**王国の完全な実現の時、私たちは栄光の中へと完全に入ります。ピリピ3:21 キリストは、万物を彼ご自身に服従させることができる彼の活動によって、私たちの卑しい体をも変貌させ、それを彼の栄光の体に同形化してください。**D**千年期において、勝利を得た信者は、王国の輝く栄光の中でキリストと共にいますが、敗北したクリスチャンは、外の暗やみで懲らしめを受けます。

CP1 反逆は、神の権威を否定し、神の支配を拒絶することである。服従を通して神の王国をもたらす

I神の王国は反逆を征服する力です**A**宇宙には二つの大きな原則があります。それは神の権威とサタンの反逆です。神とサタンの間の唯一の争いは、権威と反逆に関してです:使徒26:18 彼らの目を開き、彼らを暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせるのである。それは、私にある信仰によって、彼らが罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである。コロサイ1:13 御父は私たちに暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました。**1**反逆は、神の権威を否定し、神の支配を拒絶することです:**a**サタンは本来、神によって創造された天使長でしたが、高ぶりのゆえに自分を高く上げ、神の主権に違犯し、神に反逆し、神の内敵となって、自分の王国を建て上げました。**b**人は罪を犯したとき、神に反逆し、神の権威を否定し、神の支配を拒絶しました。バベルにおいて、人は集団で神に反逆し、神の権威を地から排除しました。**2**サタンは神の権威に反逆し、人は神の権威に違犯して神に反逆しました。しかし、神はこの反逆を継続させません。彼はご自身の王国を地上に建て上げます。**B**主イエスは来て神の王国を建て上げ、神の永遠の定められた御旨を完成します。**1**神の王国は、神が彼の権威を行使して、彼のご計画を成就することができる神聖な領域です。マタイ6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。**2**主イエスは肉体と成った神として来て、神の王国を建て上げました。すなわち、ある領域を建て上げ、神がその中で彼の権威を行使することを通して、彼の定められた御旨を完成することができるようにしました。

宇宙には二つの原則があります。それは神の権威とサタンの反逆です。私たちは、一方で神に仕えても、もう一方で反逆の霊で反逆の道を取るということはできません。反逆的な人は宣べ伝えることはできませんが、サタンは笑うでしょう。なぜなら、サタンの原則がその宣べ伝えの中にあるからです。奉仕は常に権威に付随します...主はどのようにして神の王国を建て上げられたのでしょうか? ...主が地上で行なわれたことは何であれ、完全に服従に基づいていました。神の権威に反対して何も行なわれませんでした。あらゆることは服従の中にあり、神の権威との完全な協力の中でありました...今日の召会も、服従を通して、神の権威に自由な道を持たせ、服従を通して神の王国が現れるようにするべきです。適用:青少年・大学生・大学院修士課程、新人編証**1**反逆という言葉はとても強いので、私にはあまり関係ないと思っていました。神に対して、また召会生活や奉仕の中で、表立って反抗したり

敵対の意思を表明したりしていない限り、反逆して
いないと思っていました。しかし、聖書通読の時に
サムエル記を読んでいて、サウルの存在に衝撃
を受けました。一見、謙虚でへりだっており、神の
ためのように見えますが、いろいろな振る舞いの
中で彼が自分の王国のためであったことが暴露さ
れました。絶対的に神のためでない時、それは何
であっても反逆であると印象づけられました。そし
て、さまざまな奉仕の中で自分の計画していたの
と違う方向、方法になったときに、確かに自分の
中に、ある種の不快感が湧き起こるのを思い出
しました。そしてこれが反逆であることがわかりま
した。反逆のまま奉仕する時にサタンは笑います。「**お
お主イエスよ! 私の中の反逆を対処してください!**」。

証2私が以前転職で入社した職場では、当時同僚
たちは親会社や他の部署に対して不満を持ち、ま
た互いに非難し合っていたために問題が解決せず、
雰囲気は暗く混沌としていました。ある時から本
部長をしていた余力兄弟が、その部署の部長を兼
任することになり、兄弟は私を含むその部署のメン
バーに対して、神の代理権威に従うこと、すなわち
国の法律と規制当局に従うこと、次に親会社に従
うこと、その次に社長や会社の上司に従うことを示
しました。またその会社で働く兄弟姉妹に対しては、
キリストをかしらとして共にからだの中で祈るよう促
しました。これらが浸透するにつれて徐々に会社の中
で秩序がもたらされ、最終的に他部署や親会社
とも互いに尊重し合い、友好的で前向きなコミュニ
ケーションが取れるように転換しました。また私はこ
の中で自分の中にも反逆の要素があることを大い
に照らされました。上司や親会社から何か指示さ
れたり頼まれたりしたときに、たびたび細かい懸念
から、「それはやったことがなくてできるかわからな
い」、「こんなトラブルが起きるんじゃないか」など
という考えが出て来て、無意識的に「それは難しいで
す」と口にしていくことに気づきました。上司である
兄弟から、自分を守るために「できない理由」を探
して指示を受け入れず反逆になっていることを認め、
できない理由を探すのではなく、どうやったらでき
るかを考えるようにと交わられました。「**おお主イエ
スよ、細かいことを気にしてできない理由を口に
してを赦してください。指示されたことをまず
アーメンと言って受け入れ、それからどうやって
するか考えます。私の中の反逆の性質を主が癒し
てください**」。時々このように祈ることで私の内側の反
逆の性質が徐々に癒されていきました。**祈り** Lord,
conquer me. Never let me win. Defeat me all the time.
主よ、私を征服してください。決して私に勝たせ
ないでください。いつも私を打ち破ってください。

CP2進んで他の人のために自分の魂を失うなら、人々
は照らされ、養われ、満たされ、召会は建造される

II B主イエスが変貌したこと(主イエスのかたちが変
わったこと)は、彼の人性が彼の神性で浸透され飽
和されたことを意味しました。この変貌は、彼の栄
光が現されることであり、彼が王国の中で来ること
と等しかったのです。**C**キリストは種として私たちの心
の中へとまかれました。この種は成長し発展して、
開花し栄光の中で現されるに至ります。**1**マルコ9章
において、マルコ4章でまかれた種としてのキリス
トの変貌を見ます。**9:2** イエスはペテロとヤコブとヨハ
ネとを連れて、彼らだけをひそかに高い山へ導いて
行かれた。すると、彼は彼らの前にかたちが変わり。
2私たちが神の王国の種として受けた方は、私たち
の中で成長して、ついには私たちの内側から開花
する必要があります。この開花は、私たちの中での、
実際の、経験することができる主の変貌です。**3**キ
リストが私たちの内側で変貌する時、その変貌は神
の王国となり、私たちの生活におけるあらゆることを
支配します。**5**主のために進んで自分の魂の命を失
うなら、私たちは召会生活の中で顕著な変貌を経
験します。この変貌は、真の復興となります。**マルコ
8:35** なぜなら、すべて自分の魂の命を救おうとする
者はそれを失い、すべて私のため、また福音のため
に、自分の魂の命を失う者はそれを救うからである。

私たちは主のために、召会のために、すべての聖
徒たちのために、私たちの魂の現在の享受をすべ
て失う必要があります。もしあなたが進んで他の人
のために自分の魂を失うなら、あなたと共にいる人
たちは照らされ、養われ、満たされます。これは、
召会が建造される道です。...魂を失うことなしに、正
常な家庭生活はあり得ません。家庭のために、あな
たは自分の享受を失う必要があります。そのとき、
主イエスはかたちが変わることをあなたの家庭に起
こされる時、積極的な方法であなたに褒賞を与え
られます。召会生活においても同じです。召会の中
で、私たちはみな自分の魂を失い、魂の享受を失
うことを学ぶ必要があります。私たちの魂を失うこと
によって、かたちが変わることは起こります。そのとき、
主のかたちが変わることで、私たちは積極的に
褒賞を受け、主は私たちの魂を救われます。

適用:ビジネスパーソン、大学院博士課程編

証私は魂の命を失うことで、祝福されることを証しま
す。私は大学1年の5月に救われ、直ぐにすべての
集会に参加し始めました。しかし、最初の一年間は、
集会で何も機能しませんでした。2年になってから、
私は主の憐みのゆえに突然、復興され、福音を熱
心に伝え、集会で機能するようになりました。当時、
集会で坊木兄弟がメッセージをした後、いつも沈黙

が約1分位あり、その後、徐々に何人かが分け与えました。私はその停滞した雰囲気能耐えられませんでした。当時、私は主に自分の内を開いて、正直に、個人的にあらゆることを語っていました。私のような新人が祈っても、主は聞いておられるのかどうか確信がないまま、主に語っていました。後ではっきり分かるようになりましたが、主はこれらの祈りを大変喜んで聞いてくださっていました。私は自分自身と主に語りました、「主よ、この状況を必ず打開しなければ、集会が盛り上がりません。また準備して交わっている兄弟がかわいそう過ぎます。私は兄弟が交わった後、霊を活用して、間髪入れずに語り、彼の交わりを強めます。そうすれば、他の兄弟姉妹が続いて交わることができます。私は幼いので、直ぐに交わると、ポイントを突いた交わりができず恥をかかかもしれませんが、集会のためにベストを尽くしてこのことを行います」。私は2年半以上、このことを忠実に行いました。この小さな実行を通して、私はキリストのからだの建造のために、自分を犠牲にすることを少し学びました。詩歌568番2節「主と交わるため、内を開いて、真実とまことで、ひたすら祈る。顔おおいなしに、主を見つめつつ、隠れた所で、ひたすら祈る」。

大学3年の年末、21歳の時に台湾に行って、将来、全時間奉仕をすることを心の中で決心しました。しかし、その時は環境上の導きがなかったので、大学院に進学しました。大学院修士課程の卒業前、24歳の時、リー兄弟が突然、「若者たちは大学卒業後、2年間の全時間訓練に参加するように」と言うのを聞きました。私はこの召しを聞き、以前の献身を思い出し、修士修了後直ぐに、全時間奉仕をする願いをもって、召会の責任者に交わりました。当時は終身雇用の時代で、中途採用がほとんどない時代でしたので、そのような決定をすることは、薬剤師として製薬企業に就職するという私の前途を絶たなければならないことを意味しました。また私は長男ですので、長男の家の財産相続の権利を失うことも覚悟しなければなりませんでした(私は以前、親には少し財産が有るので、両親の面倒を見ながら楽な仕事をして、平凡な生活をするを考えていました)。同時に、両親や姉たちの期待を裏切ることもなります。私はこれらのことを考慮する時、恐れおののきましたが、大学3年生の時の献身と全時間奉仕で仕える願いを思い出して祈りました、「主よ、私はすべてを捨てて、全時間奉仕をすることで恐れています。しかし、全地の諸召会の若い兄弟姉妹がリー兄弟を通してあなたの召しを聞く中で、私たち日本の聖徒たちだけが従えないという状態は、どうしても耐えられませんか。私を憐れみ助けてください。私が一歩踏み出せば、たとえ私が失敗しても、私を

踏み台(犠牲)にして、多くの人が続くことができると信じます。私は今、恐れがあっても、3年前の献身と志に戻り、何が何でも、今あなたに従います」。この祈りの1年半後に、私は2年間の全時間訓練に参加しました。この3年半、私は内側の主からの語り掛けと栄光の主の現われを何度も持ちました。主が私の犠牲になる祈りを聞き、祝福して下さいました。

神戸に在る教会交わりと報告事項

1. 献金の負担:

●三宮集会所のリフォームに100万円、王子公園学生福音センターのエアコン等で41万円を出費しました。

●東京基臨ビルエアコンの入れ替えの必要のために約2700万円(工事費用約3400万円、補助金約670万円)必要です。神戸からは150万円献金することを決めました。

2. 10月国際長老訓練(現地:ポーランド):

10/4(金)-6(主)

関西から坊木B、笠井B、有澤B、真嶋B、余力Bが参加されます。

ビデオでの参加者は、その次の週の金・土・主日に参加します。

3. 10/13(主)夜~14(月・祝)リジョイスガーデン合宿ブレンディング

4. 12月ビデオ訓練(オンライン):

申し込み締め切りは10/20(主)まで。

前回参加者はキャンセルが無い限り継続申し込みとなります。参加者は献金10000円を10/18(金)までに武富夏美Sにまで渡してください。